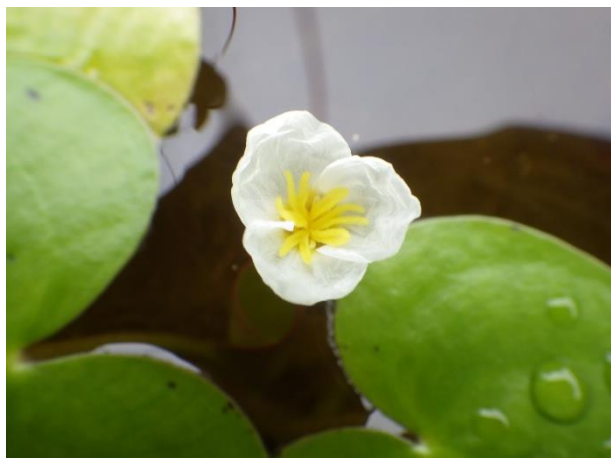
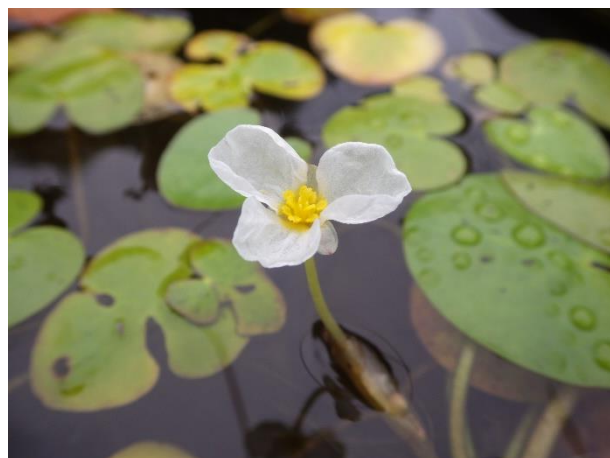


植物多様性センターの「トチカガミの性別」

情報館脇の屋外水槽で、トチカガミが咲きだしています。最初は気づきませんでしたでしたが、観察すると花の形が2種類あります。ある図鑑には雌雄異株という記述がありましたが、雄花のついた個体に果実がついていました。よく調べてみると雌雄同株の個体もあるとのことで納得しました。野生植物の雌雄性は複雑で多様であることを改めて知る機会となりました。よく知っている植物も、図鑑と違う雌雄性をもっているかもしれませんね。



雌花：めしべは細長く表面に密に毛が生えている



雄花：おしべはめしべより短く、水面より高い位置で開花する



雌花(左)は子房下位で花柄が太く、雄花(右)は花柄が細い



果実：雄花を咲かせた個体についた卵形で緑色の果実